

元んしんぶんり



キンセンカ

今	成人T細胞性白血病(ATL) ————— (1)	おしらせ(薬物検査実施について) ——— (4)
回	検査情報(アレルギー検査) ————— (2)	声(会員の先生方から) ————— (4)
の	検査Q & A(シックハウス症候群) ——— (2)	メモ(施設内勉強会) ————— (4)
紙	センター紹介(ピペットステーション) ——— (3)	編集後記 ————— (4)
面	ひろば(携帯電話の豆知識-番号ポータビリティ制度-) — (3)	中綴じ(-病態へのアプローチ-)

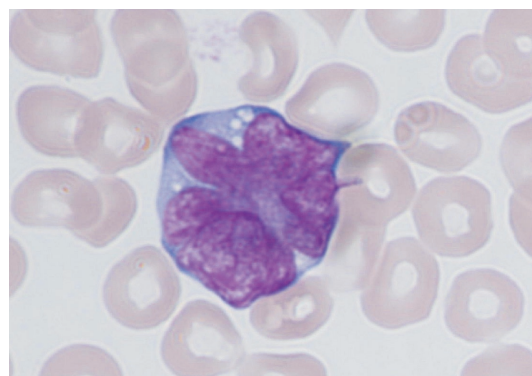
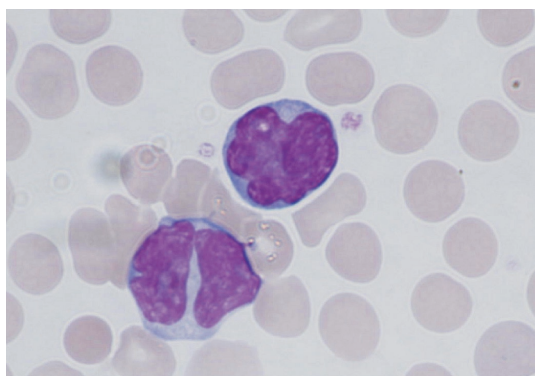
成人T細胞性白血病(ATL) *Adult T cell leukemia*

ATLは、レトロウイルスの一種であるヒトTリンパ向性ウイルスI型(human T lymphotropic virus type I: HTLV-1)の感染によって発症する白血病で、西日本特に南九州に多発する疾患です。白血病以外にリンパ腫の病型を呈するものもあり、これらを総称してadult T cell leukemia/lymphoma(ATLL)といいます。ATLLは臨床病態によって、4つの病型(くすぶり型、慢性型、リンパ腫型、急性型)に分けられますが、くすぶり型や慢性型から急性型へと悪化(急性転化)していく場合があります。

診断にはリンパ球の形態異常に加え、細胞表面マーカー(T-cell由来)と抗HTLV-1抗体陽性の確認が必要で、確定診断には腫瘍細胞へのHTLV-1プロウイルスDNAのモノクローナルな組み込み(Southern blot法)の証明が必要となります。

症状は、全身倦怠感、皮膚症状(丘疹、結節、腫瘤形成)、リンパ節腫大、肝機能障害、胸腹水貯留、呼吸器症状などがあり、免疫機能低下による日和見感染症を合併することも多いです。また、高カルシウム血症も高頻度に認められます。

細胞形態は、典型的には花卉状と称されるほか、クローバー状、脳回状、クルミ状とも呼ばれる切れ込みやくびれ、分葉、盛り上がりをもつ特徴的な核形を示し、核小体は目立たず濃染し、細胞質には顆粒を認めません。細胞数が少ない場合には見逃しやすいため、標本の注意深い観察が必要となります。採血後に長時間放置した検体にも、類似した変性細胞が見られる場合もありますが、変性細胞の核は一般に平坦気味で顆粒を有することと、クロマチンの単調的増加が見られないことから鑑別は可能です。





検査情報

アレルギー検査（カビについて）

今回は医師会検査センター内で行われているアレルギー検査よりカビについて説明したいと思います。アレルギー検査のカビの種類としてクラドスポリウム(M2)、アスペルギルス(M3)、カンジダ(M5)、アルテルナリア(M6)とカビマルチを加えた5種類の項目を実施しています。

クラドスポリウム (M2)	風呂場、台所、結露をした壁など湿った場所に見かける黒いカビがこの菌です。俗にクロカビと呼ばれ住居内ばかりでなく、まんじゅう・ケーキ・野菜など様々な食品や衣類にも生えます。空中に浮遊するカビの中で最も高頻度に見られます。また、冷蔵庫やクーラーなど低温でもよく繁殖します。
アスペルギルス (M3)	コウジカビと呼ばれ、自然界において最も普通に見られるカビの一種です。ハン・紅茶・ケーキ類に発生するほか、ヒーナッツをはじめとするナッツ類・トウモロコシ・種々の穀類・穀粉類などの食品やホコリ・土壌など広く環境に分布しています。
カンジダ (M5)	人体内の常在真菌で健常者の口腔・膣・皮膚などに腐生的に存在しています。
アルテルナリア (M6)	ススカビと呼ばれ、トマトの黒斑はこの菌が原因とされています。なし・りんご・柑橘などの腐敗の原因となるほか、植物・土壌・ホコリ・窓枠などに発生しクラドスポリウムと共に空中飛散胞子によるアレルギー疾患の代表的なものです。

これらのカビは室内外で多数検出されるため喘息を引き起こす原因として重要とされています。カビの増殖には、高い湿度・適当な温度環境・栄養源が必要で、これらはダニの増える条件とほぼ一致しており、ダニの一部はカビを栄養源として増殖することから、ホコリの中のダニの分布とカビの分布は平行してみられることが多いです。よって、ダニの除去に努めることはカビの低下にもつながります。またカビ等は空中に飛散し目に見えないため、項目の特定が困難な場合は、カビマルチでカビに対するアレルギー反応を調べる事が有効になるのではないかと思います。

しかしカビマルチは数種類の抗原をミックスして作られるため単項目の測定に比べると若干感度が下がり、どの抗原に感作しているかは分かりません。

検査Q & A

Q：シックハウス症候群とはどのようなものでしょうか？



A：シックハウス症候群とは、家などの中で発生するダニ・カビ・ホコリ・気化性の化学物質などが原因で体調不良になることを言います。家の新築や増改築をしたとき、または引っ越しをしたときに症状が現れる場合は、ホルムアルデヒド（ホルマリン）などの化学物質が原因とされています。アレルギーの項目としてはホルムアルデヒド（ホルマリン）を検査することになります。その他の化学物質過敏症の原因物質の特定は困難です。

血清検査 植村 彰

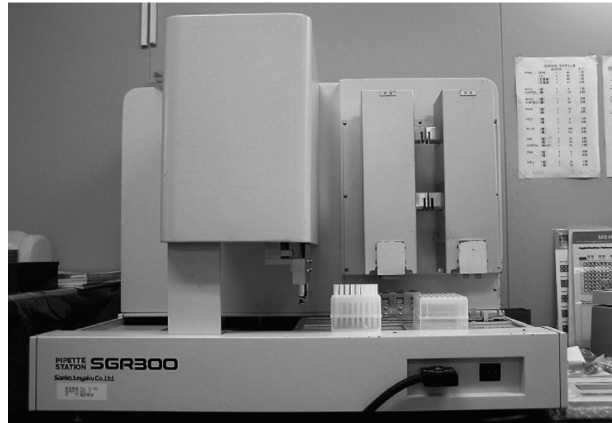


センターご紹介

ピペットステーション (SGR300)

梅毒血清反応のTPHA法やマイコプラズマ抗体 (HDPA法)、RAHAなど血球凝集反応 (PA法・PHA法など) を測定原理とした検査にはマイクロプレートを使用します。マイクロプレート上で血清の半定量希釈を行い、次に担体と呼ばれる反応粒子を加え、一定時間反応させたのち凝集像を目視で判定します。

このピペットステーションSGR300は、チップ方式を採用した自動分注器で試薬の分注・攪拌・希釈など一連の作業を行います。特徴として、処理速度も速く、マイクロプレート1枚当たり約35秒と大量の希釈操作が可能です。また200 μ lの分注量で1%以下の分注誤差、1 μ l単位で分注量の調整が可能です。また分注・希釈精度が要求される操作を、より正確に精度良くスピーディーに行うことができます。



ひろば

携帯電話の豆知識【番号ポータビリティ制度】

携帯電話の番号ポータビリティ制度 (MNP: Mobile Number Portability) とは、携帯電話を利用している人が、現在契約している携帯電話会社を変更しても、携帯電話の番号はそのまま、変更後の携帯電話会社のサービスを利用できる制度のことです。番号持ち運び制度とも言われています。この制度は、平成18年10月24日から導入され、携帯電話会社が利用者の電話番号による囲い込みを止め、サービス向上や低料金化を目指し導入されました。



携帯電話の番号は、キャリア(事業者)ごとにブロック(周波数帯)を割り当てる方式を取っているため、事業者を変更すると電話番号も変わってしまいます。一方、同一キャリア内での契約変更や機種変更等は番号変更の必要がありません。加入者にとって新しい番号を知人などに周知する手間が煩わしく、このことがキャリア変更の障害になっていたと思われます。

一見良いことづくめのようにですが、「〇×@docomo.ne.jp」といったメールアドレスが変わる」「長期割引・年間割引が引き継げない」「家族割引を契約している場合、自分だけ携帯会社を変更すると料金が高くなる可能性がある」「ポイントが引き継げない」「着メロ、着うたなどのコンテンツやゲームが継続利用できない」「携帯会社独自の電子マネーは引き継げない」といった点と、解約手数料+新規契約手数料で数千円の費用、さらに携帯電話の買い換え費用がかかる等々、思わぬ出費?に1,000円亭主にとっては笑い事ではない事態に・・・(^^;)



コマーシャルではないですが「事前によくチェックしましょう!」。

電算課長 古川 資啓

お知らせ 4月2日（月）受付分より一部薬物検査の結果報告が早くなります

迅速結果報告の一環として、4月2日（月）受付分より当センターで薬物5項目（ジゴキシン、バルプロ酸Na、テオフィリン、フェニトイン、ガルバマゼピン）の検査を実施いたします。

それに伴い報告日数が短縮され、報告書は翌営業日配達、緊急値は原則受付日に連絡いたします。

声



当院は、昭和37年より東区八田にて開業しており、私も平成17年より父の診療所で働いています。父の時代より医師会臨床検査センターを利用させて頂いており、現在、私の医院には女性の職員の方が担当として検体の集配に来てもらっています。毎日「おはようございます。医師会検査センターです。」と元気な声と笑顔で接して頂いているので、院内が明るくなり、こちらとしても有り難く思っています。最近、道路交通事情も厳しくなり、緊急検査のため、再度集配に来て頂くのは、本当に大変だと思います。検査についての疑問・質問にも、懇切丁寧に説明して頂き、大感謝です。

病院の勤務医の頃は、検査科が在って当たり前だったのですが、いざ開業医という立場になると、これ程大事なものと、考えさせられます。病院の時は、時折自分で検体を検査科へ持って行ったりしてましたが、今では、その集配が日々重要であると考えさせられます。集配に来て頂いている職員の方々には、体に気をつけて頂きたいですね。

最後に、保険点数改正によって検査点数も大幅にダウンとなり、検査センターの運営も大変だと思いますが、これからも私たち会員の検査科として発展して頂きたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

土器医院 院長 土器 裕輔

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）

「アレルギー検査について」 4月17日（火） 14:00 於）カンファレンス室
「症例検討」 4月26日（木） 16:00 於）カンファレンス室

編集後記 編集後記 「春一番」も吹き荒れ少しずつ春の気配を感じますね。この「春一番」、言葉ではわくわくしますが台風ほどの強風が吹き災害をもたらす嵐なのです。福岡西方沖地震から2年になりますが改めて防災への備えをしましょう。

表紙の金盞花^{きんせんか}について・・・金盞花とは金の盃という意味です。ギリシャ神話には、太陽神アポロンに恋した水の精クリティの話があります。アポロンと王女レウトコエの仲をねたんだクリティは、王女の父である王に告げ口をしました。怒った王は娘のレウトコエを生き埋めにしてしまいました。自分の告げ口を恥じたクリティは、アポロンを見つめながら9日間、地面に座り続けているとその身体が金盞花に変わってしまったということです。「悲嘆」「別離の悲しみ」など花言葉は悲しい響きのものが多い金盞花ですが、遠い昔は花の咲いている期間が長いことから、恋人への不変の愛と忍耐を象徴するといわれていました。そのため、結婚式の花飾りや恋愛の御守りなどにも使用されました。

原産地：南ヨーロッパ 花言葉：悲嘆、別離の悲しみ、初恋、さびしさに耐える

開花時期：10月～5月 最盛期：3月～4月 花色：黄、オレンジ 花持ち：2～5日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 右田道男



〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html E-mail: fma@city.fukuoka.med.or.jp